

日銀旭川事務所長のみた  
旭川シーン  
SCENE 16

# 消費税、所得税からみた 旭川（前編）

旭川市は二つの税務署の合算です。

また、過去十年程度の变化を追いしましたが、二〇一四年度には消費税が五％から八％に引き上げられていきます。国税分としては四％から六・三％への引き上げとなります。

二〇一七年度にかけ、①④とも増加していきま

す。旭川市は伸び率の点で札幌市、帯広市のほか、道内にも後れを取っているのが残念です。

これは、単純に考える「所得が増えないので、消費を始めた」とする消費活動が増えないのではないかと、道内に行き当たりません。そこで、道内他の市も含めて、〇八年度から一七年度までの所得税課税対象額の伸び率を横軸、消費税課税対象額の伸び率を縦軸と

しては四％から六・三％への引き上げとなります。消費税額から消費税課税対象額を割り戻す際には、その変化を織り込んで計算しました。

以上、前提のもとで、旭川市を①札幌市のほか、消費税課税対象額からみて旭川市の前後の順位に位置する、②帯広市、③函館市、④札幌と旭川市を除く道内合計（以下単に道内と呼びます）と

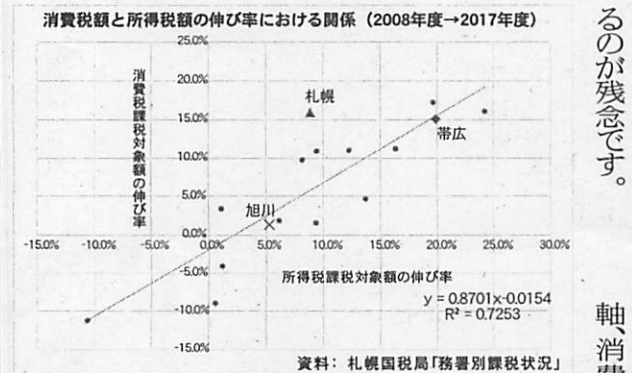
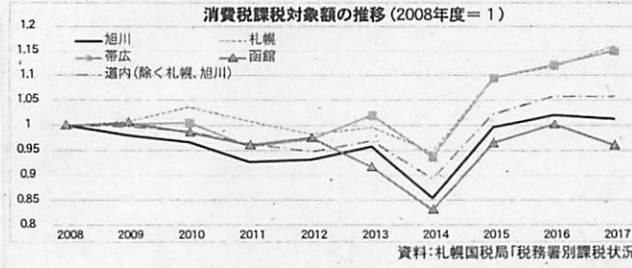
比較しました。二〇〇八年度を1とし、二〇一四年度を1として、変化を見るグラフで追うと、消費税率が引き上

げられた二〇一四年度は、いったん縮小しましたが、均（なら）してみれば二〇一七年度にかけ、①④とも増加していきま

す。旭川市は伸び率の点で札幌市、帯広市のほか、道内にも後れを取っているのが残念です。

十月から消費税率が一〇％に引き上げられました。消費税は、GDPの個人消費を指す語感がありますが、設備投資や住宅投資にも関連しており、経済活動全般の活況度合いを示しています。

消費税額は札幌国税局が道内の税務署ごとに公表しており、その税額は税務署周辺の町村分を含みます。しかしここでは、管下の主要な市のデータとみなして集計しました。札幌市は五つの税務



伸び率を縦軸とする散布図を描きました。すると、相関係数は〇・七を超えています。旭川市、帯広市は、所得税課税対象額の伸びと消費税課税対象額の伸びが標準的なバランスにあり、旭川市の消費活動の伸びは、所得の伸びに相応という

この点、札幌市は、所得税課税対象額の伸び率以上に消費税課税対象額が伸びています。これは、同市の消費活動が周辺地域からの需要も吸収し、札幌市の所得の伸び率を超えて経済活動が活発化してきたことを示唆しているようにも見えます。

『Beauty and the Beast』邦題美女と野獣。一九九一年、二〇一七年はフランスの民話をアニメや実写として映画化したもので、魔法によって怪物や家具に姿をかえられた傲慢な王子や、その家臣のお話です。

【中本浩信(なかもと・ひろのぶ)】一九六三年東京都生まれ。東京大学法学部卒。支店は鹿児島、神戸に勤務。二〇一八年八月から旭川事務所長。趣味は絵画鑑賞。

